

【校長室の窓】 R 2 年 1 1 月

## 豊かな響きが奏でられた文化祭

川棚高等学校長 畑野 公昭

10月23日（金）、朝方まで降っていた雨が上がり、晴れた空が広がった…。今年度の文化祭は、コロナウイルス感染防止のため、1日に短縮し、保護者を含めた外来者にご遠慮いただきながらの開催でした。体育館でのステージプログラムは午前中に3年生、午後1、2年生と振り分けて同一内容での2公演とし、展示もクラスごとに順番を決めて鑑賞するなど、企画、運営に携わる生徒会担当者の苦心の末に生み出された日程でした。

オープニングでは、生徒会が開会を盛り上げるビデオを制作し、巧みなカメラワークのもと冒頭部で出演した志田先生の迫真の演技もあり、「祭」としてふさわしい幕開けを飾りました。放送部は、体育祭で見た3年生の活躍ぶりを中心に今年前半のハイライトを見ごたえのあるビデオにまとめ、また、ステージで披露された全校生徒で取り組むモザイクアートは、体育祭での3年生の集合写真をもとに制作されました。いずれも、部活動や行事で制約の多い3年生への激励となるとともに、川高生の融和的な関係性を象徴するものとなりました。特に今年度はバザーや一般参加ができなかっただけに、生徒会役員の皆さんの意欲あふれる演出と準備に感謝するばかりです。

ステージでは、コーラス部の心が洗われるような透き通った歌声、吹奏楽部のキレのあるリズムに乗せたダイナミックな演奏に聴き入り、生活総合科3年生のファッションショーでは、華やかなものからシックなものまで、色とりどりの様々なデザインに溢れた8つのドレスに観覧者は目を奪われました。また、展示では、美術部員が描きためた感性豊かな作品群、各学年の生活総合科生徒による授業や検定の成果物を鑑賞しました。生活総合科が培った手芸、縫製、調理の高い技術とセンスには驚かされます。また子どもの興味を引く布製の絵本づくりや模造紙にまとめた保育等の研究成果のわかりやすい説明も工夫され、生活に必要な知識と技能がバランスよく身に付いていることがうかがわれ、その成長ぶりには目を見張るばかりです。

1、2年生は、合間の時間を利用して一人ひとり読んだ本のポップづくりに取り組みました。現在廊下や階段に展示してあるポップは個性豊かで、見ごたえのあるものです。特に2年4組生活総合科のポップの質が高く、保育やプレゼン力を高める活動を通して培った力が見事に発揮されていました。

今年の文化祭のテーマは「奏（かなで）」。文字通り、さまざまな発表や作品、演じる者と観る者の間に、音楽のメロディーのような流れ、豊かなハーモニーの響きが奏でられていたように思います。次年度の創立80周年に向けて、川高生の芸術・文化がますます磨かれることを期待します。